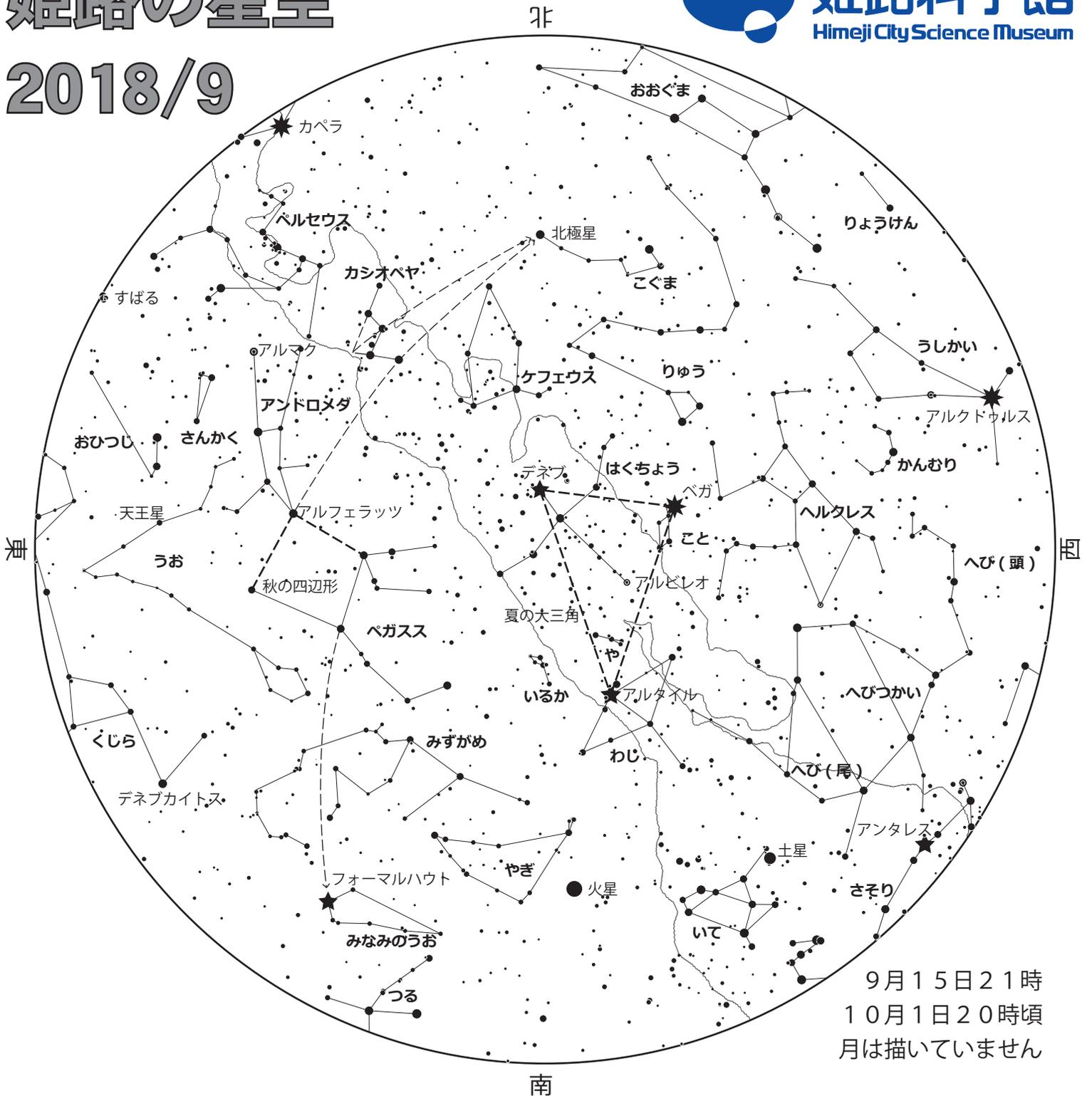


姫路の星空

2018/9



姫路科学館
Himeji City Science Museum



9月15日21時
10月1日20時頃
月は描いていません

西の空の一番星は金星です。9月21日に最大光度となり、目のいい人なら日没の前に見つけられるかもしれません。日が暮れて暗くなると南西の空に木星が目立ちます。西側の見晴らしが悪いところだと、木星が一番星になるでしょう。同じ頃、南には土星が、南東の空には火星が見えます。火星は7月31日に地球に大接近した後も明るく目立っていますが、秋が深まるにつれて、次第に暗くなります。なお、火星がやぎ座を東へ移動する様子も観察してみましょう。

頭上には夏の大三角が見えます。3つの星は、**こと座**のベガ、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。大三角から**さそり座**・**いて座**にかけて、天の川が流れます。南西の低空には**さそり座**のアンタレスが見えます。土星の左下あたりでティーポット型に星が並んでいるあたりが**いて座**です。秋の澄んだ夜空では、**いるか座**や**やぎ座**など、目立たない星座を探すチャンスです。

東の空に秋の四辺形が見えています。**ペガサス座**の胴体にあたります。四辺形から北に目を移すと、**カシオペヤ座**を経て北極星が見つかります。また、南へ目を移すと、**みずがめ座**を経て、秋の星座でたったひとつの1等星、**みなみのうお座**のフォーマルハウトが見つかります。四辺形から北東に向かって、**アンドロメダ座**や**ペルセウス座**が並んでいます。